

徳大病院など視察

中国の旅行雑誌記者来県

中国の旅行雑誌の記者ら6人が15日、徳島県内の観光地を視察した。国土交通省の外国人観光客誘致事業「プロジェクト・ジャパン」の一環で、東日本大震災の影響で大幅に減少した外国人観光客を呼び込もうと、関西地域振興財団が招いた。

16日は相谷のかずら橋などを視察。17日降は鳥取、兵庫県を訪れ、20日に関西国際空港から出国する。(森麻実)

来県したのは北京、上海、深圳の旅行雑誌3社の記者ら。鳴門市の渦の道や徳島市の徳島大学病院、阿波おどり会館を訪れた。徳大病院では松久宗英医師から、同病院の糖尿病検診の説明を受け、記者は徳島で検診を受けるメリットなどを熱心に質問していた。

上海の旅行雑誌記者、潘峰さん(34)は「徳島は



糖尿病検診の説明を受ける中国の雑誌記者ら
—徳島大学病院